



コフモス

地域版
第16号



平成23年
1月

タイトル：穏やかな日

撮影地：鏡野町恩原湖

コメント：近くのスキー場とは対照的に静かな湖畔です〈吉井外科医院 吉井康哲先生〉

〈赤磐医師会病院基本理念〉

- ❦ 心のかよう、温かみのある医療の提供に努めます。
- ❦ 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- ❦ かかりつけ医と連携を深め、地域と共にある病院を目指します。



日本医療機能評価機構

新年挨拶



赤磐医師会会長 滝澤 貴昭

あけましておめでとうございます。赤磐医師会病院は開院後29年目を無事迎えることができました。ちまたでは地域医療崩壊と叫ばれ続け、公的病院の8割以上が医師・看護師不足や経営難に陥っている中、わが赤磐医師会病院は、地域医療支援病院として一定の役割を担えるだけの職員確保ができ、また安定した経営基盤も継続できています。これも、当院を支えて頂いている地域住民の皆様ならびに患者さんをご紹介くださる先生方のおかげと感謝する次第です。

さて、今年から病院本館の耐震補強工事が始まります。利用される皆様には、ご不便をおかけすることと思いますが、何卒ご理解をたまわりますようお願い申し上げます。また開院30年に向けて、より地域医療ニーズにお応えするべく、ソフト・ハード両面での充実が不可欠です。ハード・設備面について医師会員・病院職員一同にて相談を重ねてまいりましたが、脳卒中や大腿骨骨折などにて急性期医療機関に入院された方が、自宅に帰られることを支援するためのリハビリテーションを受けられる専門的な入院病床・専門スタッフが最も不足しており、その分野の充実が我々に課せられた急務であると考えています。現在、このようなりハビリテーションを必要とされる方々の多くが岡山市街地や西大寺の病院に入院しておられ、患者さんご本人はもとより、ご家族の方もご不便でありましょうし、リハビリテーションには、ご家族の励ましが大切であり、自宅に近い病院で、より専門的医療が受けられることが望ましいことはいうまでもありません。詳細については決定し次第、お知らせさせていただく予定です。また増築・改築に伴いまして、医師・看護師・リハビリテーション科スタッフなどの大幅な増員も予定しています。我々と一緒に地域医療に貢献して下さる意欲あふれる職員の方を募集していますので、何なりとお気軽に事務方にお尋ねください。本年も、昨年以上のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



赤磐医師会病院院長 川口 憲二

新年あけましておめでとうございます。本年も赤磐医師会病院をよろしくようお願い申し上げます。

一昨年来の新型インフルエンザの流行もすっかり影を潜めているかにみえますが、これからが本格的なインフルエンザのシーズンです。外出後の手洗いや、うがいなどを習慣化することでインフルエンザのみならず、さらには冬季に流行しやすいウイルス性の胃腸炎の予防対策にもなり是非とも心がけたいものです。

さて、病院は新年早々から耐震工事が始まります。これは病院設立当時の基準より厳しくなった現在の耐震基準に見合うように補強するためのものです。通院、および入院生活を送られる皆様方には、その間騒音や振動等でご迷惑をおかけすることになりますが、ご容赦願いたいと存じます。

数年来、県をあげて地域連携クリティカルパスと称して脳卒中や大腿骨骨折、さらには糖尿病や心筋梗塞、各種のがん等の疾病に対して、各病院と診療所の間で連携して診療に当たっていくことが進められてきています。当院もこれに応えるため体制を構築しつつありますが、さらに回復期リハビリテーションを充実させるべく、近い将来回復期病棟の新設とさらにはリハビリテーション科スタッフの充実を図っていきたいと考えています。

今後とも、病院に対してのご意見をたまわれば幸いです。

皆様方にとりまして、新年が良い年となりますよう、職員一同願っています。



地域連携という 取り組みについて

赤磐医師会病院 内科医長 緒方正敏

当院は、地域医療支援病院として県内5病院のうちの一つとして東備地域での医療の一端を担っています。地域の患者さんを積極的に受け入れ、ご家族と自宅での療養生活を在宅医の先生方と共に支えています。

現在、我々は患者さんを在宅に向けて各医療機関が協力して社会復帰を目指す医療を、切れ目なく円滑に行なう方法として地域連携クリティカルパスに取り組んでいます。以前と変わらないのではと思われるかもしれませんが、患者さんの疾患の状態や在宅に進むために必要な情報を共通した地域連携シートを使うことでよりわかりやすく、伝わりやすくしています。

岡山県では、平成18年に大腿骨頸部骨折から始まり、脳卒中、糖尿病、がんという疾患に対し順次広がっています。当院は疾患の治療と共に、機能回復するためのリハビリテーションとその生活機能の維持、再発防止のための療養を地域の先生方と取り組むようこの地域連携クリティカルパスに参加しています。現在までに大腿骨頸部骨折の患者さん34名、脳卒中の患者さん2名を受け入れています。岡山県での医療連携に積極的に取り組むため、院内で委員会を設置し2ヶ月に一回会議を開き、医師、看護師はもちろん、理学療法士等の医療スタッフがチームを組み、院内の協力体制をどのようにすればいいかを話し合い、明確にしています。また、地域連携クリティカルパスをよりわかりやすく病院全体に周知するための勉強会を行ない、多職種のスタッフが積極的に参加しています。

備前保健所や赤磐医師会とともに地域連携クリティカルパスを当院に根付かせ、今後増えていく疾患に対応し、赤磐地域により上質な医療を提供できるように努めて行きたいと考えています。また、地域に戻ってこられる患者さんの中には、この赤磐で最後をむかえたい方、自宅で家族と過ごしたい方もいらっしゃいます。

当院では、その方々を家族と共に支えるよう体の痛みや精神的な苦痛を和らげるような医療、緩和ケアを地域での医療向上として、看護師と共に取り組んでいます。

これからも地域での良質な医療の向上を目指しスタッフと共に日々努力をしてまいります。



臨床検査科から

臨床検査科 技師長 松江良一

臨床検査科は臨床検査技師7名（男性3名、女性4名）、臨床工学技士3名（男性2名、女性1名）で構成されています。いずれも医療職としては新しく一般的には馴染みのうすい名称のようです。（臨床検査技師法は昭和33年4月：往時は衛生検査技師法、臨床工学技士法は昭和62年制定：いずれも業務範囲の広がり等実状にあわせた法制定が繰り返されてきました。）

臨床工学技士は近年の医用工学の発展により、現場で使用される様々な医療機器の専門的な取扱い技術者として、当院では、通常は透析室業務を、時として院内医療機器の点検等担当し、「医療機器安全委員会」の会議等をとおして安全で良質な医療機器使用の啓蒙に努めています。

臨床検査技師は生体検査と検体（尿・便・血液等）検査を担当しています。

生体検査：心電図・筋電図・眼底・呼吸機能・腹部（心臓）超音波など

検体検査：血液・尿などの体液を採取し、生体内の諸種成分分析

ウイルス・各種癌に対する腫瘍マーカー等の測定

多剤耐性菌や病原性大腸菌などの臨床分離株の抗菌作用の微生物検査など

リアルタイムに検査し、患者医療情報として、データの品質（精度）・サービス（迅速正確）・経済性に考慮した医療構築を目指しています。

また、科内連絡会議を週一回、臨床検査適正化検討委員会を2ヶ月に1回開き精度管理報告、各種データ集計、測定法の検討、講習会参加の伝達講習等を、また感染対策・安全対策等の院内各種委員会とも緊密に連携を保ち、院内の医療安全に寄与できるよう努めています。

検査業務だけではなく、ある程度社会にも目を向け健全で良質・安全な医療情報発信に真摯に取り組みたいと思っています。最後に法律「第一条:目的」をご紹介します。今後ともご指導よろしくお願いたします。「この法律は、臨床検査技師の資格を定め、もって医療および公衆衛生の向上に寄与することを目的とする」



放射線科 最新トピックス

放射線科 永安良徳

この度、昨年11月10日から東芝の多目的デジタルX線テレビ装置 ZEXIRA（ゼクシラ）の運用を開始しました。

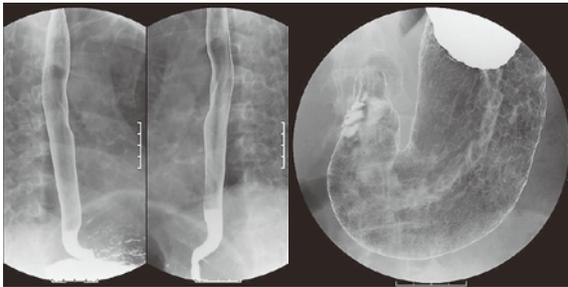
この装置は、頭部から下肢まで幅広く透視・撮影を行う事が出来ます。消化管（上部・下部）造影を始め、内視鏡を併用して胆管・膵管造影検査などの精密検査も行う事が出来ます。

また、半切サイズの撮影も可能となり、腹部から骨盤まで広く描出出来るので泌尿器科系の検査（点滴静注腎盂造影など）も行う事が出来ます。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



TOSHIBA ZEXIRA



上部消化管造影



内視鏡的逆行性
胆管膵管造影



点滴静注腎盂造影



新人紹介

総務課課長 ● 山本 英人

総務課に勤務している山本英人です。今年以下
の3つのことに力点を置きたいと思っています。①
〈人と人とのつながり〉を大切にしていきたいと
思っています。②新しい風となり赤磐医師会病院を
盛り上げていきます。③今年こそ赤磐医師会病院バ
レー部を優勝、いえ1勝させたいと思っています。
以上、新たな気持ちで頑張りますのでよろしくお願
いします。

看護助手 ● 石原 優

私は高校でヘルパーの資格を取り、卒業後赤磐医
師会病院へ就職しました。現在南3階の療養病棟で

看護助手として働いています。

スタッフの方に支えていただき、日々の業務を
行っています。学生生活とは違い社会人となり仕事
への責任を日々感じています。まだまだわからない
事が多く日々勉強していきたいと思っています。

看護師 ● 藤原 恵美

私が赤磐医師会病院に勤め始めて3ヶ月がたちま
した。私自身看護師となって今年で2年目でまだま
だ未熟者ですが、少しずついろんな事を学び様々な
事に挑戦し頑張りたいと思います。いろいろご迷惑
をおかけする事もありますが、どうぞよろしくお願
いします。

赤磐医師会病院 外来診療・検査担当表

平成23年1月1日現在

		月	火	水	木	金	土 第1・第3土曜日のみ
外 来 診 療	内科一診 (再診)	川口 憲二 院長	萱谷 紘枝	柚木 直子 内科医長	緒方 正敏 内科医長	川口 憲二 院長	担 当 医
	内科二診 (初診)	柚木 直子 内科医長	緒方 正敏 内科医長	大山 正史 内科医長	川口 憲二 院長	大山 正史 内科医長	
	外 科	戸田佐登志 副院長	宮木 功次 診療部長	内田 卓之 外科医長	戸田佐登志 副院長	宮木 功次 診療部長	宮木功次(第1) 内田卓之(第3)
	整形外科	片山 信昭 整形外科医長	藤田 寧子 受付は午後1時より	片山 信昭 整形外科医長	藤田 寧子	片山 信昭 整形外科医長	担 当 医
	リウマチ外来 (予約・紹介制)		片山 信昭				
	泌尿器科			河内啓一郎		渡邊 豊彦	
	疼痛外来 (予約・紹介制)		西江 宏行				
	腎臓内科 (予約・紹介制)		斎藤 大輔				
循環器科 (予約・紹介制)	重歳 正尚	森田 宏		赤木 達			
神経内科 (予約制)					森本 展年		

診療受付時間 午前8時30分 ～ 午前11時	整 形 外 科	火曜日：午後1時～午後3時
	リウマチ外来	火曜日：午後1時～午後3時
	泌 尿 器 科	水曜日：午前8時30分～午前11時・午後1時～午後2時 金曜日：午後1時～午後3時30分
	循 環 器 科	月・火・木曜日：午前9時～午前11時・午後1時30分～午後5時
	腎 臓 内 科	第2・4火曜日：午後1時30分～午後2時30分



材料 (1人分：花形3個分)

梨	25g
レモン汁	適量
ゼラチン	0.6g
水あめ	2g
砂糖	4g
ホイップ	5g

梨のモスコビー

<1人分> エネルギー54kcal・たんぱく質1.0g・食物繊維0.2g

<作り方・ポイント>

- ① 梨の皮をむき、ミキサーにかける(変色防止のため、レモン汁を一緒に入れる)。
- ② ゼラチンをふやかしておく。
- ③ ①を弱火にかけ、水あめ、砂糖、②のゼラチンを溶かす。
- ④ 粗熱がとれたら、ホイップを加え、冷蔵庫で冷やし固める。
- ⑤ 冷えたら、型ぬぎで抜き、盛り付ける。



※モスコビー：フルーツのピューレと生クリームとのゼリー
これからは新高、あたご等でお楽しみください。
梨独特のざらつきを感じますが、のどごしはなめらかです。

地域医療支援病院 赤磐医師会病院

〒709-0816 岡山県赤磐市下市187-1

TEL 086-955-6688 (代) FAX 086-955-4946

E-mail: akaiwahp@gamma.ocn.ne.jp HP <http://www.akaiwa-mah.jp/>

発行日 平成23年1月15日

